

雄物川流域国有林の森林計画に関する住民懇談会の概要について

令和7年4月を始期とする雄物川森林計画区の地域管理経営計画等の策定にあたり、地域の皆様からご意見・ご要望をお伺いする機会として、以下のとおり「住民懇談会」を開催しました。いただきましたご意見等を参考に、地域管理経営計画等の策定作業を進めてまいります。

- 1 開催日時：令和5年11月28日（火曜日）13:30～16:00
- 2 開催場所：大仙市仙北ふれあい文化センター
- 3 出席者：森林計画検討会委員、国有林モニター、一般参加者、秋田県及び管内市町村担当者 計18名
東北森林管理局 森林整備部長、計画課長
秋田森林管理署長・湯沢支署長 他
- 4 主なご意見等の概要

- ・国有林の人工林のうち50%以上が主伐の適齢期となっている。民有林も同様と思われるが、民有林も含めて計画的に伐採することができるのか。
- ・スギの値段が安く厳しい現状にあり、民有林が心配。様々な取組を行っている国有林が民有林をフォローしてほしい。
- ・木材の需要が減少している中で、国有林の伐採量が増えれば丸太が溢れることになるのではないかと。
- ・今年はクマが里に下りてきて問題になっている。クマが山の中で命を繋いでいけるような森づくりに取り組んでほしい。
- ・現在の子供たちは森林に親しむ機会が少ない。学校と協力し、子供たちが森林に興味・関心を持つような活動をしてほしい。
- ・林業体験活動では、参加者の声を聴き、地域の実情にあった取組を行ってほしい。

